

## 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業2021

北東アジア地域の青少年を対象に、環境問題に関する意見交換や環境保全活動を通じて相互の友好と理解を促進し、グローバルな視点で地域の環境保全に取り組む人材を育成することを目的に実施した。

### 1 実施日

2021年8月24日(火)～25日(水)

### 2 実施方法

オンライン形式 (Zoom)

### 3 主催等

- ・ 主催：富山県
- ・ 主管：公益財団法人環日本海環境協力センター
- ・ 協力：参加自治体

### 4 参加者

北東アジア地域の中高生34名(3か国5自治体)

- ・ 日 本：11名(富山県11名：高岡高校・滑川高校から各4名、富山国際大学付属高校から3名参加)
- ・ 中 国：6名(山西省6名)
- ・ ロシア：17名(沿海地方5名、ハバロフスク地方6名、トムスク州6名)

### 5 テーマ

SDGs/環境保全活動の推進に向けて

### 6 内容

#### (1) 開会挨拶

富山県生活環境文化部長 出来田 肇



#### (2) 地域・参加者紹介

自治体ごとに、居住する地域(国・自治体)のPRや参加者の紹介をスライドで行った。



富山県(国際大付属高校)



山西省(中)



沿海地方(露)



ハバロフスク地方(露)



トムスク州(露)

### (3) 文化交流

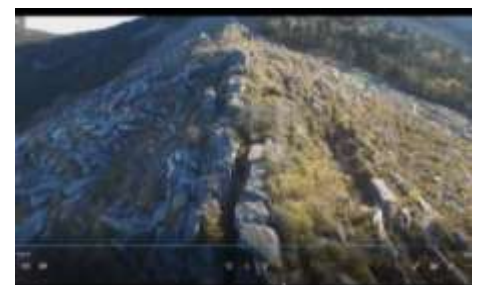
居住する地域の文化を動画で紹介し、相互理解を深めた。



富山県(滑川高校)



山西省(中)



沿海地方(露)



ハバロフスク地方(露)



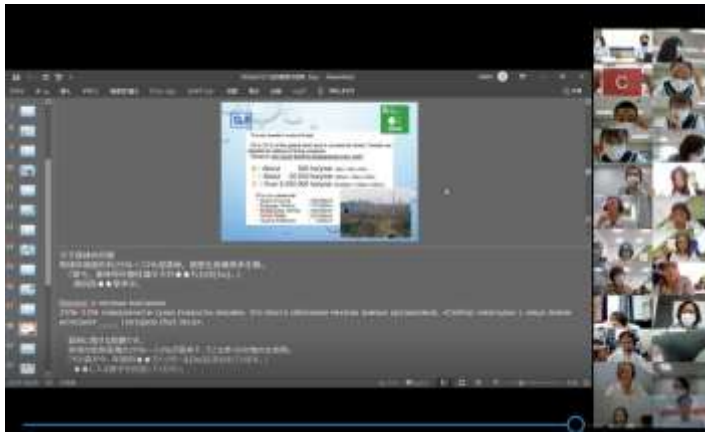
トムスク州(露)

(4) 活動発表(各自治体のタイトルをクリックすると資料が表示されます。)

自治体	タイトル
富山県 (日) (滑川高校)	<a href="#">The use of sardines for a sustainable society</a> 
山西省 (中)	<a href="#">Prevention and control of Air Pollution</a> 
沿海地方 (露)	<a href="#">My legislative initiative</a> 
ハバロフスク地方 (露)	<a href="#">Study on the ecological status of the snow cover in Khabarovsk</a> 
トムスク州 (露)	<a href="#">Formation of the “GREEN SCHOOL” project with in the framework of modern school education</a> 
富山県 (日) (高岡高校)	<a href="#">Save Our Ocean!</a>

(5) SDGsクイズ

SDGs/環境保全に関するクイズをとおして、楽しみながら環境保全について学ぶとともに、参加者同士の交流を図った。



(6) 自由交流

プログラム全体を通じた質疑応答、意見交換、異文化交流などの自由交流を行った。





(7) 体験活動

「私たちが目指す2050年のあるべき社会・姿」をテーマに、自治体ごとにウェブ上でポスターを制作した。

自治体	作品及び制作意図
富山県（日）	<p>《Save Our Earth ～Not only our area but all over the world～》</p>  <p>地球の環境のために、より良いことを、国や性別などの何の区別も差別もなく、協力して支えあって、手を組もう。それはSDGsの基本でもある。</p>
山西省（中）	<p>《At One with nature》</p>  <p>2050年は、それまでの取り組みの成果が表れ、様々な技術革新が進み、グリーンとブルーに満ちた社会となり、親もさらに未来へと生きる子どもを育てている。</p>

沿海地方  
(露)

《WORLD'S FUTURE DEPENDS ON US》

**WORLD'S FUTURE DEPENDS ON US**

**FUTURE WORLD IN OUR MINDS IS:**

- People rationally use resources
- Humanity strives for general well-being
- Everything around environmentally friendly
- The biodiversity of the Red Book is being actively replenished
- The problem of garbage has been solved

THE FIRST STEP FOR THE IDEAL WORLD IS PROHIBITION TO LAUNCH BALLOONS

Let's make our planet cleaner! Stop launch balloons

WE BELIEVE THAT FUTURE WORLD WILL LOOK LIKE THIS

2050年の地球は、「資源を賢く使う」「絶滅危惧種が回復する」など、もっと環境のことを考えた生活を送っているでしょう。

ハバロフスク  
地方 (露)

《We must save our planet》

**We must save our planet**

KHABAROVSKY KRAI

What are you going to leave behind on the Earth?

未来に向けて、ごみを残すのか、美しい緑を残すのか。地球環境のことを一緒にもっと考えよう。

トムスク州  
(露)

## 《The Bright future of the planet》



もっと環境のことを考えた生活をすれば、未来には、緑の木が生い茂り、きれいな水が流れる地球がある。地球のすべては私たちの手にかかっている。

### (8) 環境宣言

参加者代表（富山県・高岡高校）が「環境宣言文」を発表した。



## 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業2021 環境宣言文

私たちは、日本・中国・ロシアの3か国の代表として、「2021 北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業」に参加しました。そして、「SDGs/環境保全活動の推進に向けて」をテーマに、大気環境や生態系の保全、廃棄物の分別・リサイクル、持続可能な社会を目指す活動、海洋環境の保全に関する情報共有や意見交換、ポスター制作等の活動を行っていくなかで、SDGsの理念を理解し、豊かな地球環境を次世代に引き継いでいかなければならないという使命を実感しました。

また私たちは、この北東アジア地域の素晴らしい環境をこれからも守っていくためには、地域や国の境界を越えて、多くの人々が連携・協力して行動することが必要だと痛感しました。SDGsの理念を踏まえ、地球上の「誰一人取り残さない」ことを念頭に置き、ここで得られた知識やネットワークを活かして、様々な方面から環境保全へアプローチをしていくことが大切であることを学びました。

私たちは、今後も相互交流を行いながら、各国・地域において環境保全活動に積極的に参加します。そして、北東アジア地域で生活する幅広い世代の人々に、この地域の豊かで美しい自然環境の保全の大切さを発信していくことを宣言します。

2021年8月25日

北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業参加者一同

### (9) 閉会挨拶

富山県生活環境文化部長 林 誠

